

NISSO
PRONITY

福証IRフェア

2024年4月18日

 日創プロニティ
(証券コード：3440)

目次

INDEX

- 1 会社概要
- 2 2024年8月期第2四半期決算概況
- 3 2024年8月期通期業績見通し
- 4 主なトピックス
- 5 企業価値向上に向けた対応方針と
当社の配当方針

会社概要

会社概要

商号 日創プロニティ株式会社
(英文表記：NISSO PRONITY Co., Ltd.)

代表者 代表取締役社長 石田 徹

本社 福岡県福岡市南区向野2-10-25

設立 1983年9月

資本金 1,176百万円

セグメント 金属加工、ゴム加工、建設、タイル

関連会社 連結子会社10社



日創グループ

 日創プロニティ

 吾孺ゴム工業

 日創エンジニアリング

 綾目精機


 ダイリツ

 壹会

 ワタナベテクノス

 ニッタイ工業

 天神製作所

 カナエテ

 マルトク

 シキファニチア

社名の由来

1983年創業時から、**加工**をキーワードに、事業領域の拡大を図り、
2007年福岡証券取引所Q-Boardへの上場を機に社名を変更

加工
Processing

無限
Infinity

前進
Progress

造語

事業領域を拡大していく
という想いを込めて

プロニティ
PRONITY

加工の無限の可能性を追求し続ける

グループ経営理念 日々創造

創業の精神：日々創造
日々創造する企業集団であり続ける



経営理念のもと



グループミッション 価値の創造

新たな価値創造による社会貢献

グループビジョン 加工の総合企業

加工を通じてお客様のニーズに応える企業
グループを目指し、**エンドレスに挑戦**

サステナビリティの基本方針

加工を通じてあらゆるニーズにお応えすることで、
社会的価値と経済的価値を満たしていく

金属加工の流れ一例（日創プロニティ）

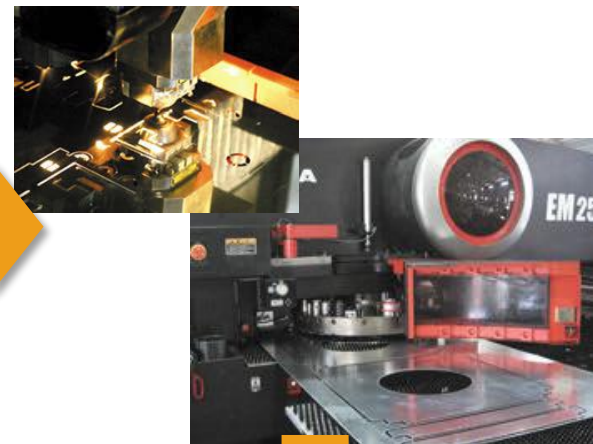
① 素材：コイル鋼材（薄板）



② 材料切断



③ レーザー加工
ターレットパンチプレス加工



⑥ 溶接・組立



⑤ 曲げ加工



④ バリ取り



当社の強み：あらゆる**金属加工**を**ワンストップ**で行える

主な事業領域（日創プロニティ）

■ 各種金属加工製品（オーダー加工品）



太陽電池アレイ支持架台



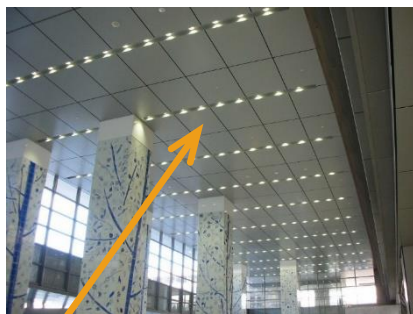
太陽光発電搭載型カーポート



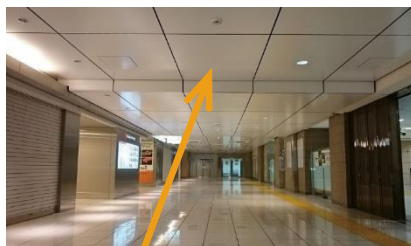
金属サンドイッチパネル
(耐火パネル)



アートパネル:外部天井パネル
(JR博多駅)



天井パネル:内装化粧パネル
(JR博多駅)



天井パネル
(JR東京駅キッチンストリート)



外壁パネル
(アルファロメオ店舗)

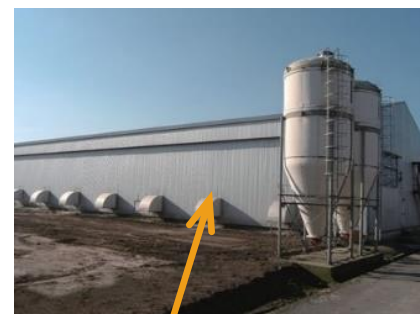


デザインパネル
(ポリスミュージアム:東京銀座)

■ 各種金属加工製品（企画品）



金属屋根材



金属壁材

➤ 以下広範囲な業界に向けて、各種金属加工製品を提供

- ・ 建築、建材
- ・ 環境、エネルギー
- ・ 工場、プラント
- ・ 駐車場
- ・ 仮設、プレハブ
- ・ 半導体
- ・ 農業、畜産
- ・ 車輛部品

ほか

主な製品①太陽電池アレイ支持架台



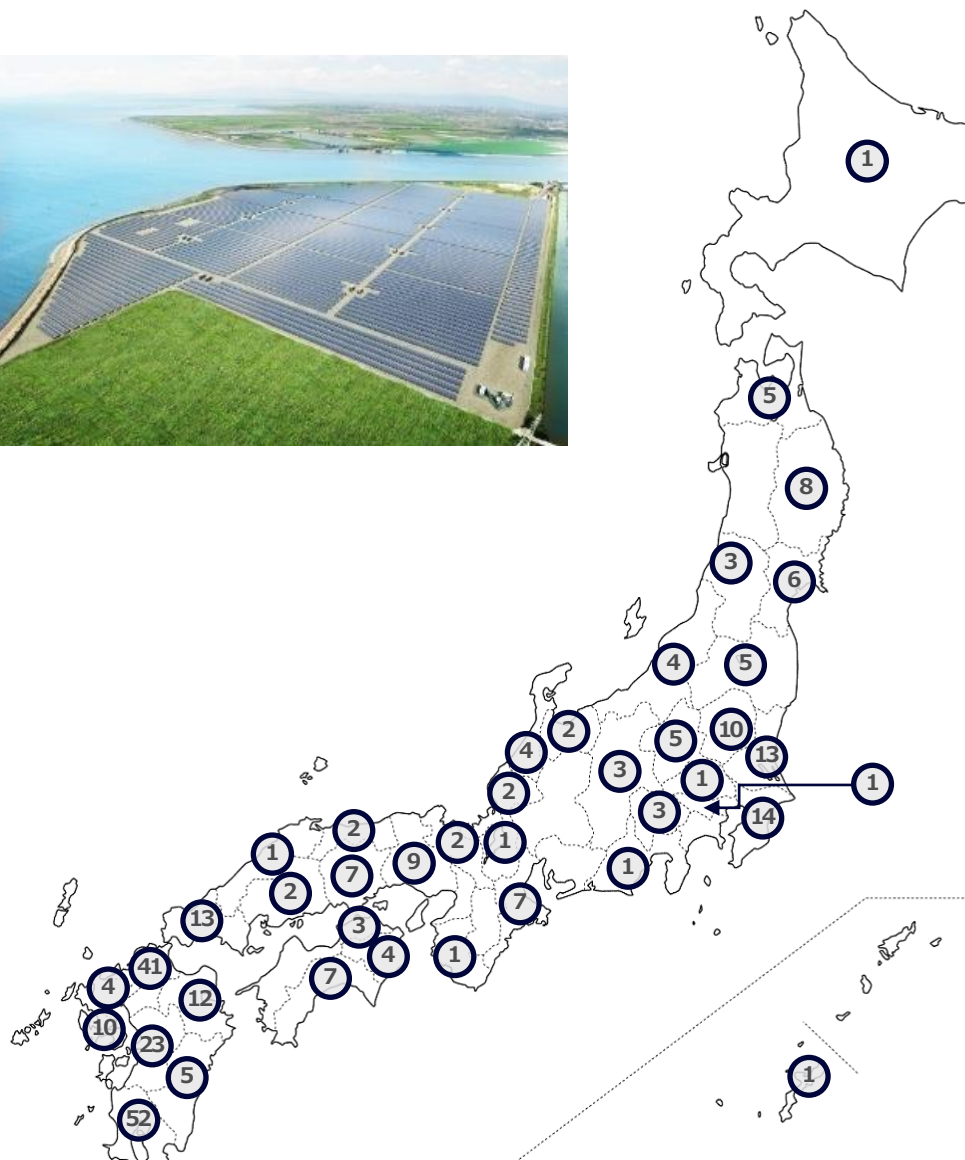
地上設置タイプ



営農タイプ



カーポートタイプ



メガソーラー受注実績

(2024年4月現在)

303件/1,829MW

一般家庭の年間電力消費量
約55万世帯分※に相当！

再エネ社会へ
大きく貢献！

※世帯年間電力消費量4,322kWh、
太陽光発電設備利用効率15%として当社試算

NISSO PRONITY Co., Ltd. All Rights Reserved.

主な製品②金属サンドイッチパネル（耐火パネル・不燃断熱パネル）

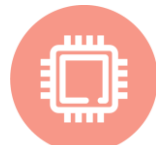
■耐火パネル

- ・ 1000度の熱で1時間燃えることがない性能を持つ。
- ・ 国土交通大臣の認定が必要な製品。（耐火認定）
- ・ 主に大型施設の防火区画で使用される。

■不燃断熱パネル

- ・ 国土交通大臣の認定が必要な製品。（不燃認定）
- ・ 温湿度管理、気密管理、衛生管理が必要な室内の内装材として使用される。

主な利用シーン



半導体工場



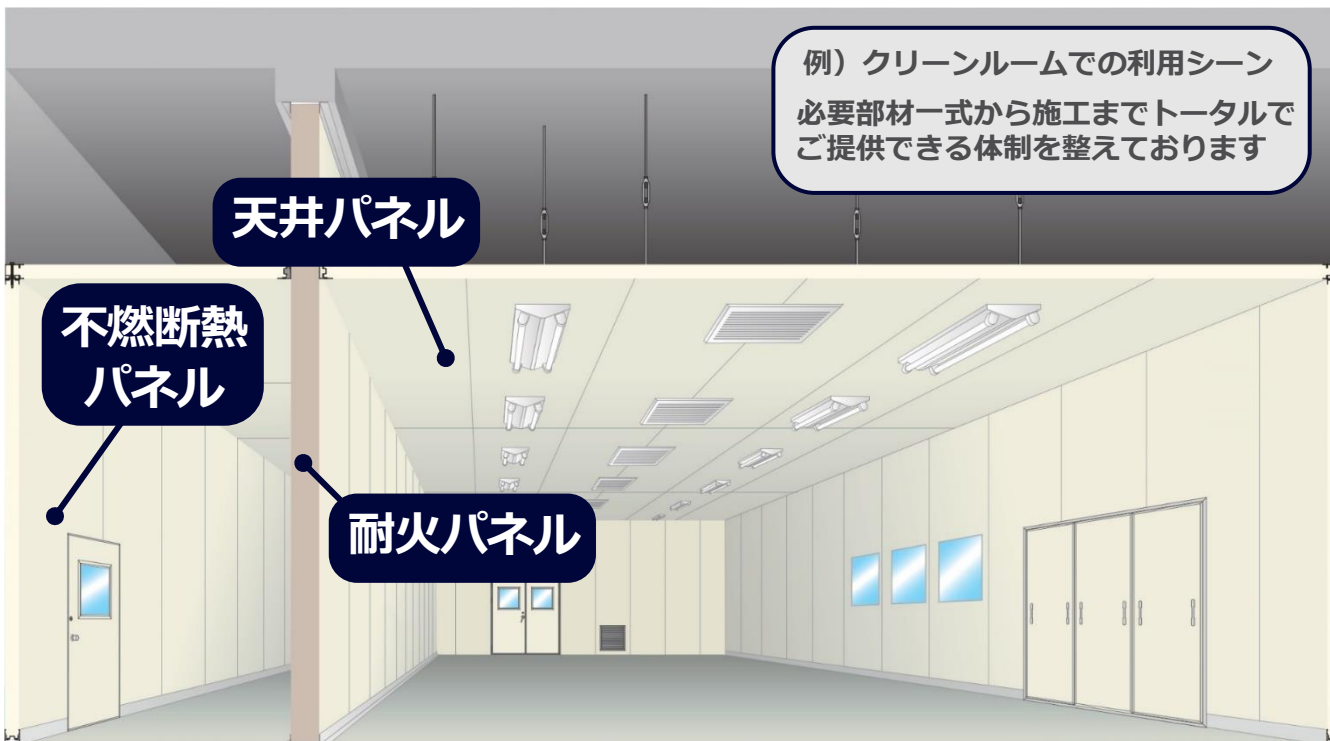
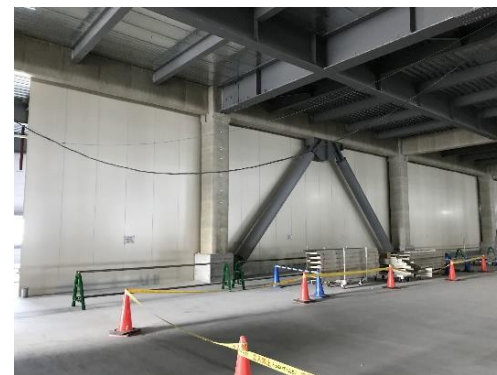
物流倉庫



薬品工場



食品工場



主な事業領域（グループ会社①）

吾孺ゴム工業株式会社（2016年グループ化）



AZラバージョイント

下水道マンホール継ぎ手部分を
ゴム化した耐震部品



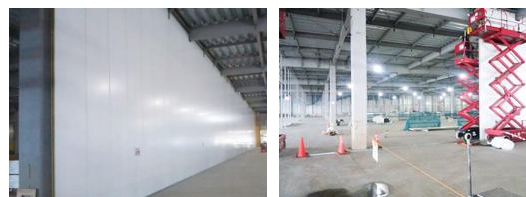
エキスパンションシール
地震や温度伸縮などによる
変形から建築物を守るため
の接合部材

- 原料ゴムからの一貫生産を行う**ゴムメーカー**として、土木製品、一般工業製品、建築製品、車両用品、道路用品を製造。

日創エンジニアリング株式会社（2016年設立）



太陽電池アレイ支持架台設置工事



耐火/不燃断熱パネル設置工事

- 日創プロニティが「太陽電池アレイ支持架台」や「金属サンドイッチパネル」を供給し、日創エンジニアリングが**設置工事**を行うことで「材工一括受注」体制を構築。

綾目精機株式会社（2017年グループ化）



- 金属の**切削加工**を中心に、印刷機、農業用機械、車輛、工作機械等の部品など、幅広い分野の多様な受注に対応。

株式会社ダイリツ（2018年グループ化）



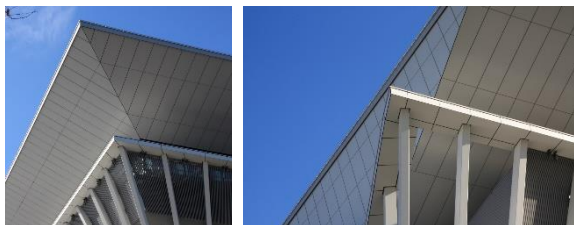
風量調節ダンパー

大型ダンパー

- 空調設備の風量調節装置、防火防災装置として用いられる、**空調用ダンパー**を製造。
- 各種プラント・発電所・トンネル等、様々な用途に対応するオーダーメイドの特殊製品の製造に注力。

主な事業領域（グループ会社②）

株式会社壹会（2022年グループ化）



東京アクアティクスセンター4F頂部庇



軒天パネル施工例



壁パネル施工例

- 壹会は、各種建築物の内外装材として用いられる金属パネル、ルーバーなどの設計・施工を主業とする建築金物・金属製建具工事業者

株式会社ワナタベテクノス（2023年グループ化）



ディーゼル発電機用
防音パッケージ



ディーゼル発電機用
防音パッケージ



ガス圧縮機用防音
パッケージ



圧縮機用
防音パッケージ

- 防音BOX、消音ダクト等の設計、製造、販売を行うメーカー
- 近年データセンター向け案件で業容拡大

ニツタイ工業株式会社（2023年グループ化）



- ニツタイ工業株式会社は、タイルの製造・販売及び卸売を行う国内有数の**老舗企業**
- 金属内外装材とタイル内外装材という幅広い提案ラインナップを武器に、顧客獲得を推進。

株式会社天神製作所（2023年グループ化）



畜産排泄物処理用攪拌機



堆肥ペレットマシン

- 畜産排泄物から堆肥を作る攪拌機や、堆肥をペレット状に成形するペレットマシンなど排泄物処理プラントを設計、製造、施工するメーカー

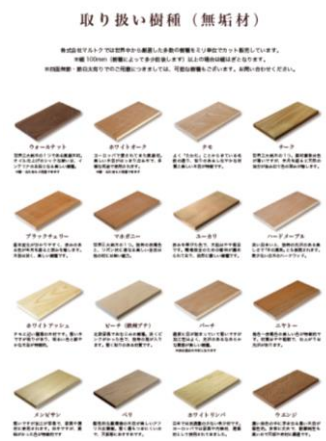
主な事業領域（グループ会社③）

カナエテ株式会社（2023年設立）



➤ 何かを作りたい人がデザインやアイデアを持ち寄って、それを実際に製品にして購入することができる、一般消費者向けのものづくりWEBサービス「カナエテ」を運営する企業です。

株式会社マルトク（2024年グループ化）



ECサイト



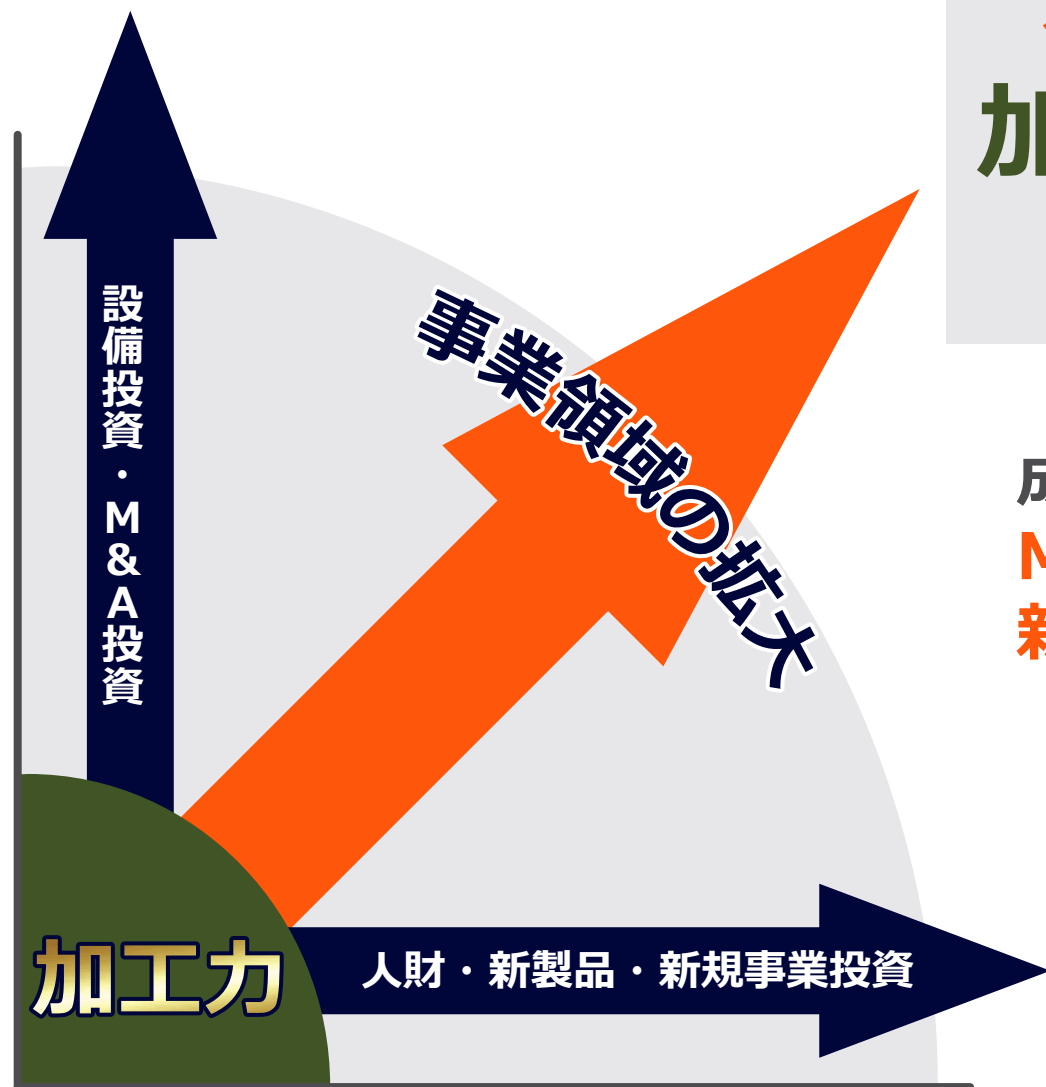
加工例（面取り加工）

➤ 主に内装用木材・集成材を加工、販売している老舗企業
➤ 自社ECサイトを立ち上げ、独自の販売力・競争力を有する企業

シキファニチア株式会社（2024年グループ化）



➤ 「SIKI」のブランド名にて家庭用、業務用のダイニング・チェア、テーブル等を自社工場にて一貫して製造しているメーカーです。



グループビジョン 加工の総合企業

お客様のニーズに応える
企業グループ

成長への投資

M&A、設備、人財、
新製品開発、新規事業

投資枠
50億円

※「加工力」とは「加工を通じてお客様のニーズに応える力」と定義しております。



2024年8月期 第2四半期決算概況

2024年8月期第2四半期業績ハイライト (連結・損益計算書)

(単位：百万円)

	2023.08期 第2四半期	2024.08期第2四半期				
		当初計画	計画	実績	前年同四半期比	
売上高	5,208	7,556	8,100	8,418	+ 3,210	61.6%
営業利益	333	284	800	① 814	+ 480	144.0%
(営業利益率)	(6.4%)	(3.8%)	(9.9%)	(9.7%)	—	(+3.3P)
経常利益	345	289	805	848	+ 503	145.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,708	169	560	② 602	△ 1,106	-64.7%
EBITDA (※)	557	529	1,053	1,082	+ 524	+93.9%
受注残	5,994	—	—	8,093	2,098	—

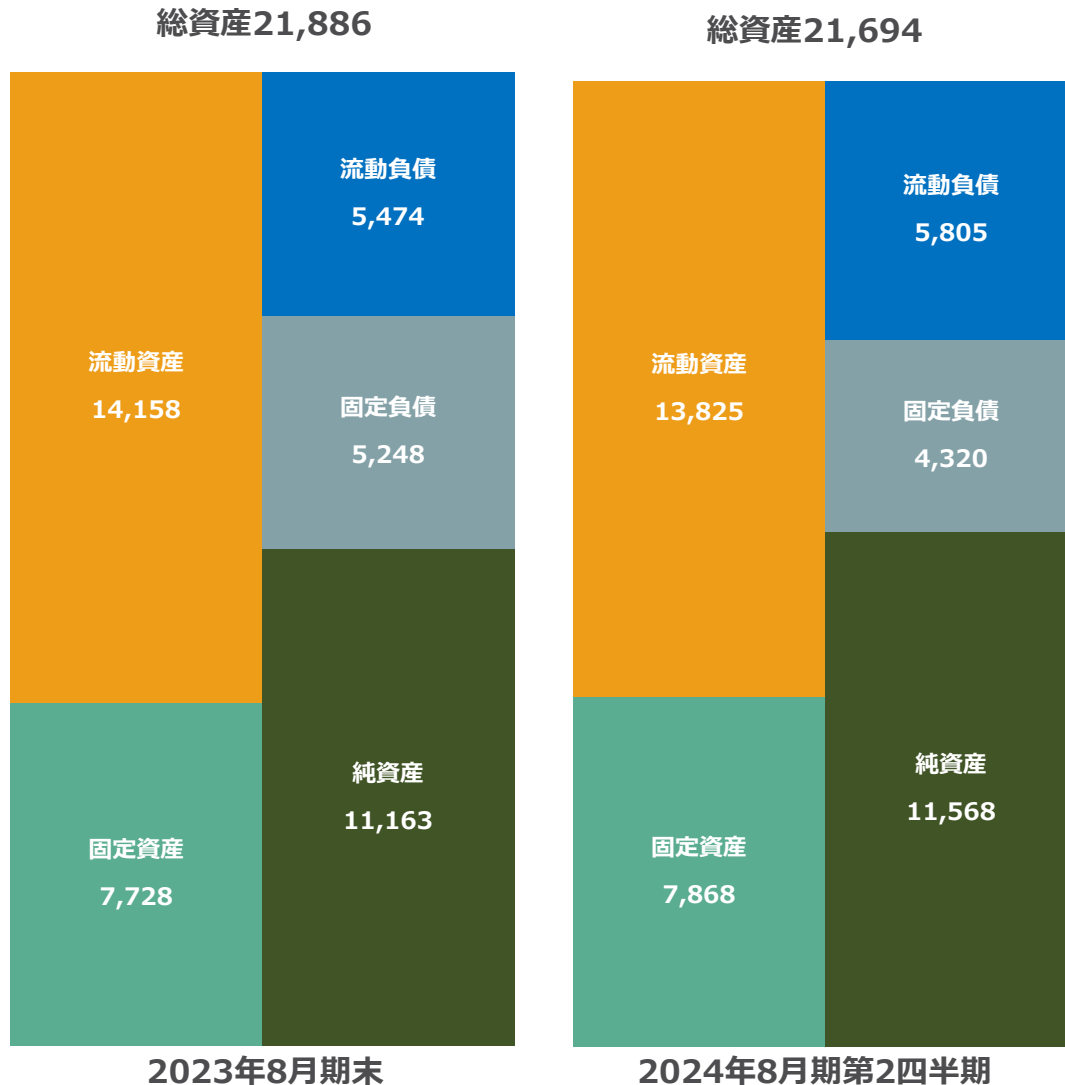
①金属サンドイッチパネル及び太陽電池アレイ支持架台が伸長したことや、前連結会計年度においてM&Aにより子会社化した株式会社ワタナベテクノス、ニッタイ工業株式会社及び株式会社天神製作所の収益貢献により、売上高8,418百万円、営業利益814百万円となりました。

②2023年8月期の第2四半期連結累計期間において、特別利益（負ののれん発生益）として1,535百万円を計上した影響により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比△1,106百万円の602百万円となりました。

(※) EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

2024年8月期第2四半期業績ハイライト (連結・貸借対照表)

(単位：百万円)



主な増減要因

流動資産

前期末比△333

- ・現金及び預金△1,229
- ・受取手形、売掛金及び契約資産+122
- ・電子記録債権+390
- ・仕掛品+231

固定資産

前期末比+140

- 連結子会社の増加により
- ・のれん+130

流動負債

前期末比+331

- ・短期借入金+280
- ・流動負債のその他+154
- ・1年内返済予定の長期借入金△105

固定負債

前期末比△928

- ・長期借入金△336
- ・固定負債のその他△581

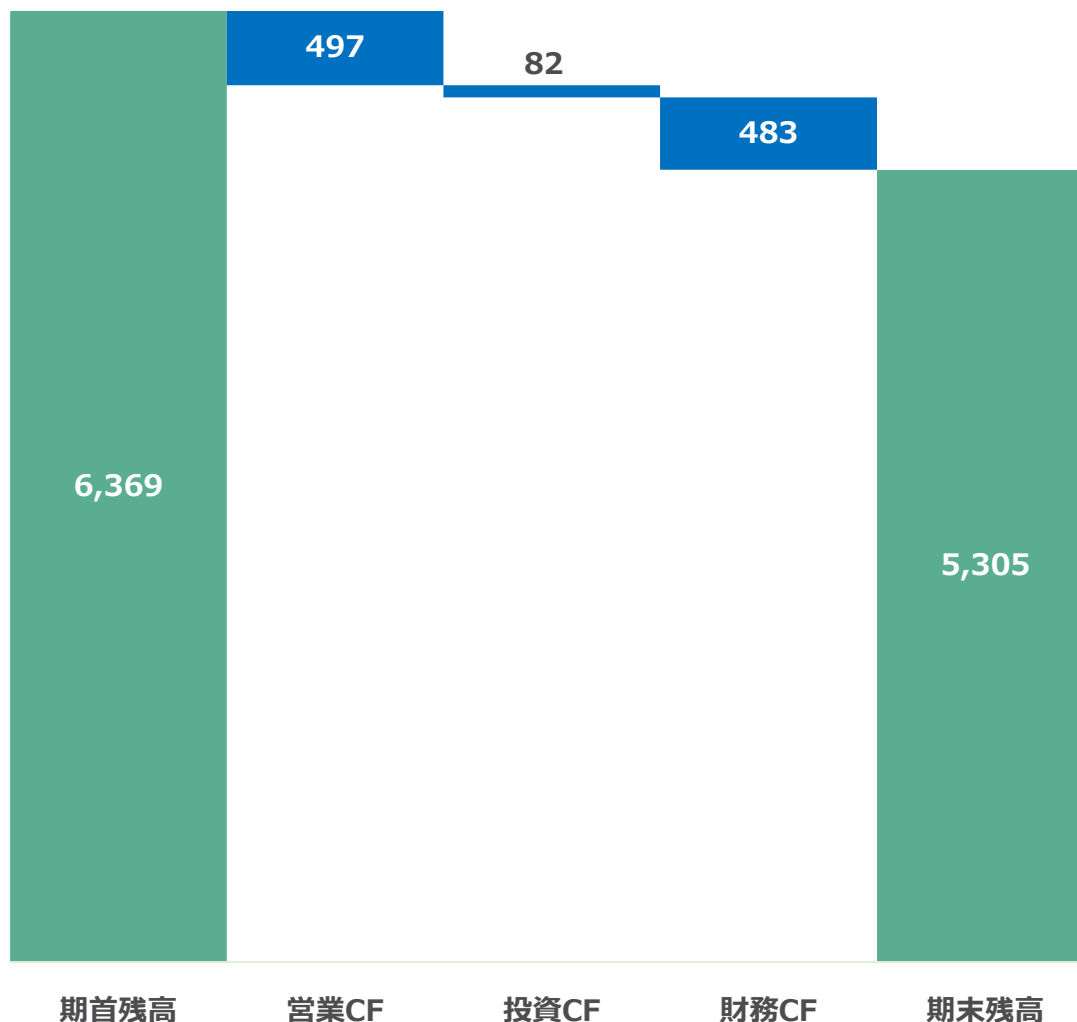
純資産

前期末比+404

- ・親会社株式に帰属する四半期純利益+602
- ・剰余金の配当△196

2024年8月期第2四半期業績ハイライト (連結・キャッシュフロー計算書)

単位：百万円



■ 減少

営業キャッシュフロー △497

税金等調整前当期純利益857
 減価償却費230
 売上債権の増加△467
 棚卸資産の増加△337
 その他の固定負債の減少△450
 法人税等の支払額△241

投資キャッシュフロー △82

定期預金の純減額169
 有形固定資産の取得による支出△191
 連結の範囲の変更を伴う
 子会社株式の取得による支出△143

財務キャッシュフロー △483

短期借入金の純増額280
 長期借入金の返済による支出△588
 配当金の支払額△196

2024年8月期第2四半期業績ハイライト (連結・セグメント)

(単位：百万円)

	2023.08期2Q		2024.08期2Q		前年同四半期比	
売上高	5,208	(構成比)	8,418	(構成比)	+ 3,210	61.6%
金属加工事業	2,410	46.3%	3,914	46.5%	+ 1,504	62.4%
ゴム加工事業	568	10.9%	521	6.2%	△ 46	△8.2%
建設事業	2,229	42.8%	1,377	16.4%	△ 852	△38.2%
タイル事業	—	—	2,599	30.9%	+ 2,599	—
その他	—	—	5	0.1%	+ 5	—
セグメント利益	590	(構成比)	1,043	(構成比)	+ 452	—
金属加工事業	219	37.2%	826	79.2%	+ 606	+276.2%
ゴム加工事業	115	19.5%	56	5.4%	△ 58	△50.7%
建設事業	255	43.3%	65	6.3%	△ 190	△74.4%
タイル事業	—	—	110	10.6%	+ 110	—
その他	—	—	△ 16	△1.5%	△ 16	—
調整額	△ 257	—	△ 229	—	+ 27	—
営業利益	333		814		+ 480	144.0%

2024年8月期第2四半期業績ハイライト (セグメント・受注残高)

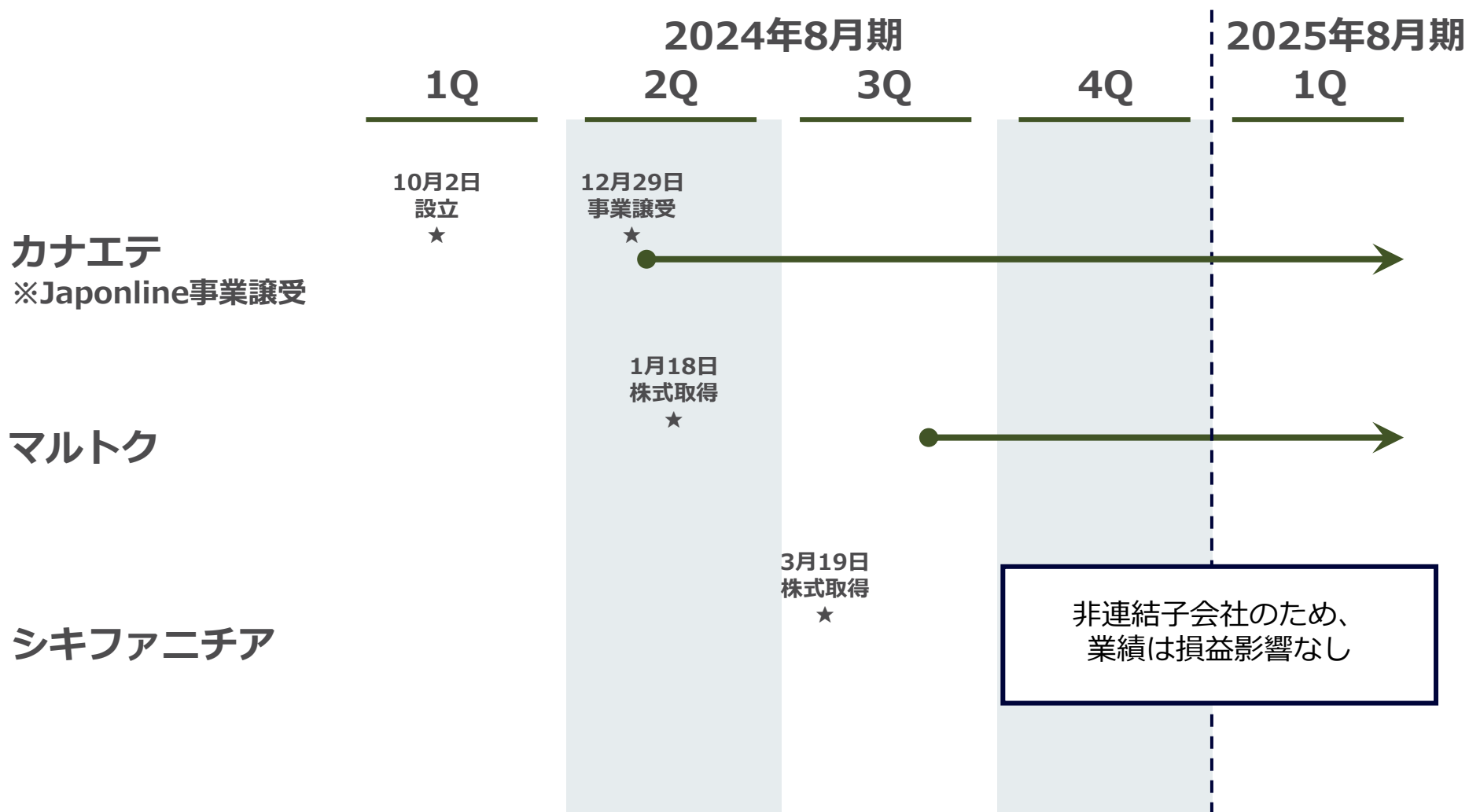
(単位：百万円)


	2023.08期 第2四半期	2024.08期 第2四半期	前年同四半期比	
金属加工事業	1,369	① 2,928	+1,559	+113.9%
ゴム加工事業	86	67	△18	△21.9%
建設事業	3,363	② 3,969	+606	+18.0%
タイル事業	1,175	1,076	△98	△8.4%
その他	—	51	+51	—
受注残高合計	5,994	8,093	+2,098	+35.0%

①金属加工事業（1,559百万円増）：日創プロニティ株式会社、株式会社ワタナベテクノス、株式会社天神製作所の増加が貢献

②建設事業（606百万円増）：株式会社壹会の増加が貢献

新規M&A企業の損益取り込み時期





2024年8月期 通期業績見通し

2024年8月期通期業績見通し（連結）

売上高16,100百万円（前年同期比28.3%増）

営業利益1,180百万円（同277.5%増）

（単位：百万円）

	2023.08期 通期実績	2024.08期通期見通し	
		計画	前年同期比
売上高	12,548	16,100	+ 3,552 +28.3%
営業利益	312	1,180	+ 868 277.5%
（営業利益率）	（2.5%）	（7.3%）	－（+0.8P）
経常利益	416	1,184	+ 768 184.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,523	824	△ 699 -45.9%
EBITDA （営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）	806	1,780	+ 974 120.8%

- 2024年8月期の通期連結業績予想については、下期において、鋼材価格の上昇局面が始まることや、売上ボリュームは大きいものの収益率が上期に比べ低下する案件が増加することに加え、製造設備の減価償却費の計上開始、今後の事業拡大を見据えた人財投資や新規事業投資に係る費用計上を織り込み。
- M&Aにより発生する株式取得関連費用については織り込み済み。
- また、前連結会計年度に子会社化した金属加工事業の2社については、下期は減益基調での推移を想定。
- 以上により、下期の各段階利益における増益幅は上期よりもやや限定的になることが想定され、通期の業績予想値については、売上高16,100百万円（前年同期比28.3%増）、営業利益1,180百万円（同277.5%増）、経常利益1,184百万円（同184.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益824百万円（同45.9%減）を予想しております。

主なトピックス

新規事業：ものづくりWEBサービス「カナエテ」

アイデアをカタチに。
Kanaete

「創りたい人」「創り手（当社など加工会社）」「買い手」の三者を繋ぐ、ものづくりWEBサービスとして「カナエテ」を2023年10月よりスタート。

ものづくりに関するセミオーダー、フルオーダーの要望に応えつつ、将来的には、ものづくりをしたいデザイナー・クリエイターや、他の加工会社も巻き込みながら、「ものづくり企業のプラットフォーム」を目指す。



アイデアをカタチに。

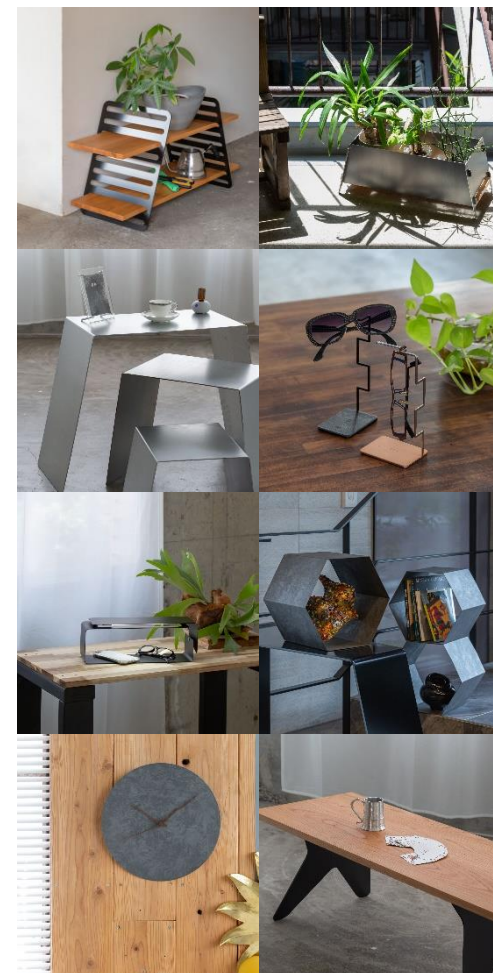
Kanaete

カナエテ株式会社（2023年10月設立）
ものづくりWEBサービス
「カナエテ」をスタート



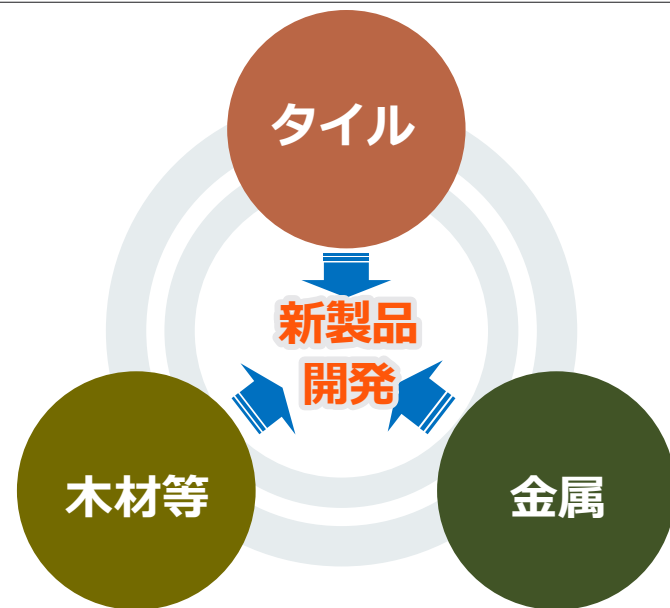
WEBサイトイメージ

カナエテWEBサイト <https://kanaete.jp/>



株式会社マルトク

- 1920年創業の老舗材木店で、主に内装用木材・集成材を加工、販売する
- 「マルトクショップ」という自社ECを保有しており独自の販売網に強み
- カナエテEC事業との相互送客や、グループに木材という新素材が加わることにより、住宅設備等のオリジナル製品開発・試作に向けて前進へ



マルトク製品一例



シキファニチア株式会社

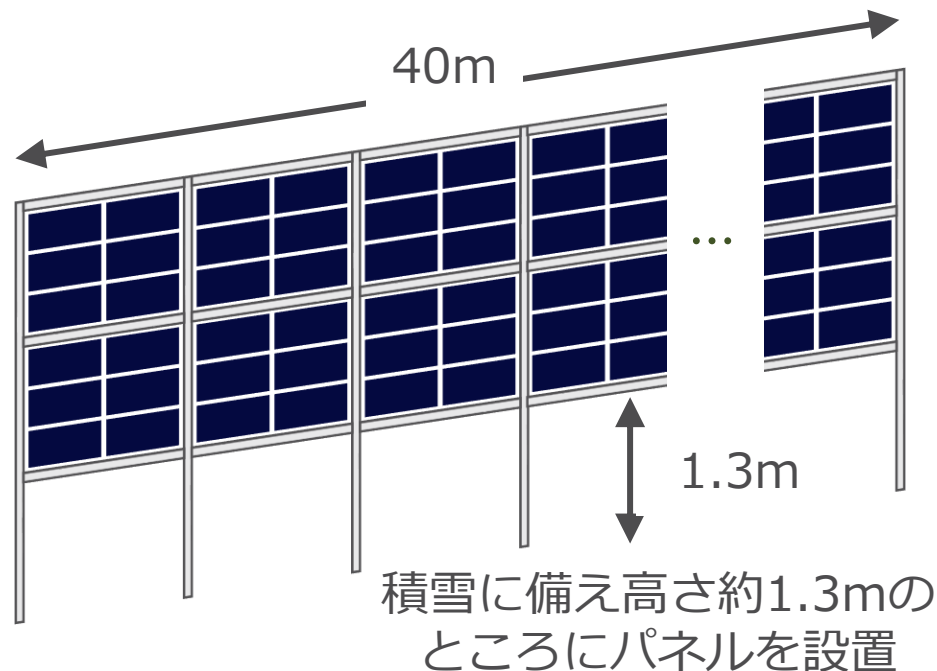
- 「SIKI」のブランド名にて、家庭用・業務用のダイニング・チェアー、テーブル等を自社工場にて一貫製造するメーカー
- 繊細なデザインを実現する加工技術を有し、加工力強化に寄与
- ニットアイ工業、マルトク等グループ連携により空間デザインに関する提案力強化に繋げてゆく



シキファニチアで製造するチェアー一例、工場風景

新規取組事例①：垂直式太陽光実証実験へ架台納入

酪農学園大学、自然電力が実施する積雪地域牧草地でのソーラーシェアリング実証実験に、垂直式太陽光架台を納入。



実証実験の目的

積雪地域の牧草地で太陽光発電を行うソーラーシェアリングを実施することで、冬場は遊休地となる積雪地域の牧草地が新たな収益源となる可能性を検証。発電評価、農業機械の作業性、牧草の栄養価など事業性を総合的に検証予定。

新規取組事例②：自治体との連携協定

脱炭素を目指す自治体と連携協定を締結。他民間企業ともタッグを組み、地域ごとの悩みに再エネ製品を提供する企業として寄り添える体制構築を目指す。

熊本県水俣市

地域脱炭素社会の実現及び地域活性化に向けた包括連携協定
(2024年3月12日締結)



【参画企業】

- ・河村電器産業（受配電設備メーカー）
- ・肥後銀行
- ・熊本銀行
- ・熊本中央信用金庫

愛媛県内子町

脱炭素及び持続可能なまちづくりの実現に向けた包括連携協定
(2024年3月25日締結)



【参画企業】

- ・大日本ダイヤコンサルタント
(総合建設コンサルタント会社)
- ・武田林業（地場企業）

新規取組事例③：ベトナムに設計人員を配置

ベトナムの協力会社事務所に当社から設計人員を派遣。日創グループの加工に必要な「設計工程」を、一部海外へ移転する拠点化プロジェクト。
まだ立ち上げフェーズではあるが、数年後には現地法人化を目標に、設計から調達まで海外で行えるよう、海外協力工場のリサーチ・調達拠点としての活用を目指す。



ベトナム設計チームの様子

現在

当社設計一部を依頼

日創プロニティ



ベトナム設計人員

将来構想

グループ全体の設計から仕事を依頼
現地生産協力工場を探す拠点にも

日創グループ



現地法人化した
海外拠点
(設計・調達)

海外の人財活用だけでなく、協力工場の開拓拠点としても活用し、
今後の日創グループを飛躍させる礎として長期的に期待！

「第11回IRグッドビジュアル賞」初受賞しました

IRグッドビジュアル賞実行委員会（一般社団法人日本IR協議会、株式会社バリュークリエイイト）が主催する「第11回IRグッドビジュアル賞」を初受賞しました！
応募総数67社中、当社を含む7社が受賞となりました！

受賞企業 1 証券コード：3440 日創プロニティ株式会社 様



継続的なM&A投資による企業価値向上と投資実績

2016年3月に吾孺ゴム工業をM&Aし、**グループ経営**に移行してから、順調にグループ社数は増加。当初手探り状態だったM&A企業受け入れ**ノウハウも順調に蓄積**しており、更なるM&A推進により、グループとしての**成長加速**を目指す。

グループ経営開始時より
投じた金額総額（※1）

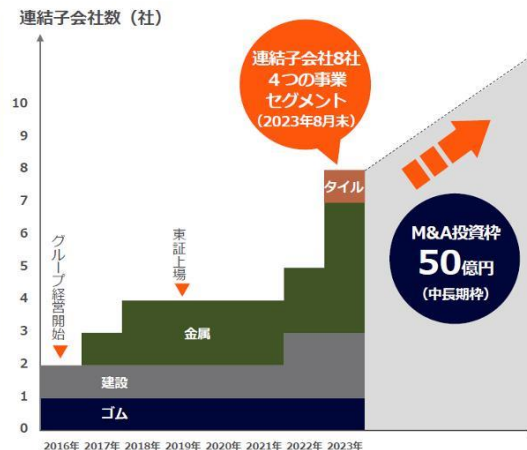
51億円

連結子会社が8年で創出した
当期純利益総額（※2）

19億円

※1：2016年～2023年における子会社株式取得費用、M&A取得費用、子会社設立出資金の総計

※2：2023年8月期連結純資産から日創プロニティ単体純資産を除外した上で、受取配当金を足し戻し、負ののれん発生益の影響を除外したものの



21

NISSO PRONITY Co., Ltd. All Rights Reserved.

<審査員コメントより>

- シンプルで色使いが洒落ている。強調すべきところが目立っておりメッセージを読み取りやすい。
- 投資したセクター、金額と利益のメッセージはわかりやすい。「M&A戦略は成功」と思える資料。
- M&Aに対する意思表示と結果が明記されており、右肩上がりのビジュアルで将来に期待を持たせている。
- M&Aにより事業分野が拡大していることがうまく説明できている。
- 成長は社数より売上高または利益で示すほうがいいか、創出利益は8年間合計より直近の1年間の数字のほうが相応しいかは検討課題。

出典：「第11回IRグッドビジュアル賞受賞事例」より



企業価値向上に向けた 対応方針と配当方針

グループビジョン

加工の総合企業

PBR

=

ROE

×

PER

時価総額
自己資本

当期純利益
自己資本

時価総額
当期純利益

稼ぐ力

UP!

成長力

UP!

M&A、設備、人財、新製品開発、新規事業へ
積極的に資金を投下し企業価値向上
エンドレスに挑戦し続ける

継続的なM&A投資による企業価値向上と投資実績

2016年3月に吾孺ゴム工業をM&Aし、**グループ経営**に移行してから、順調にグループ社数は増加。当初手探り状態だったM&A企業受け入れ**ノウハウ**も順調に蓄積しており、更なるM&A推進により、グループとしての**成長加速**を目指す。

グループ経営開始時より
投じた金額総額 (※1)

51億円

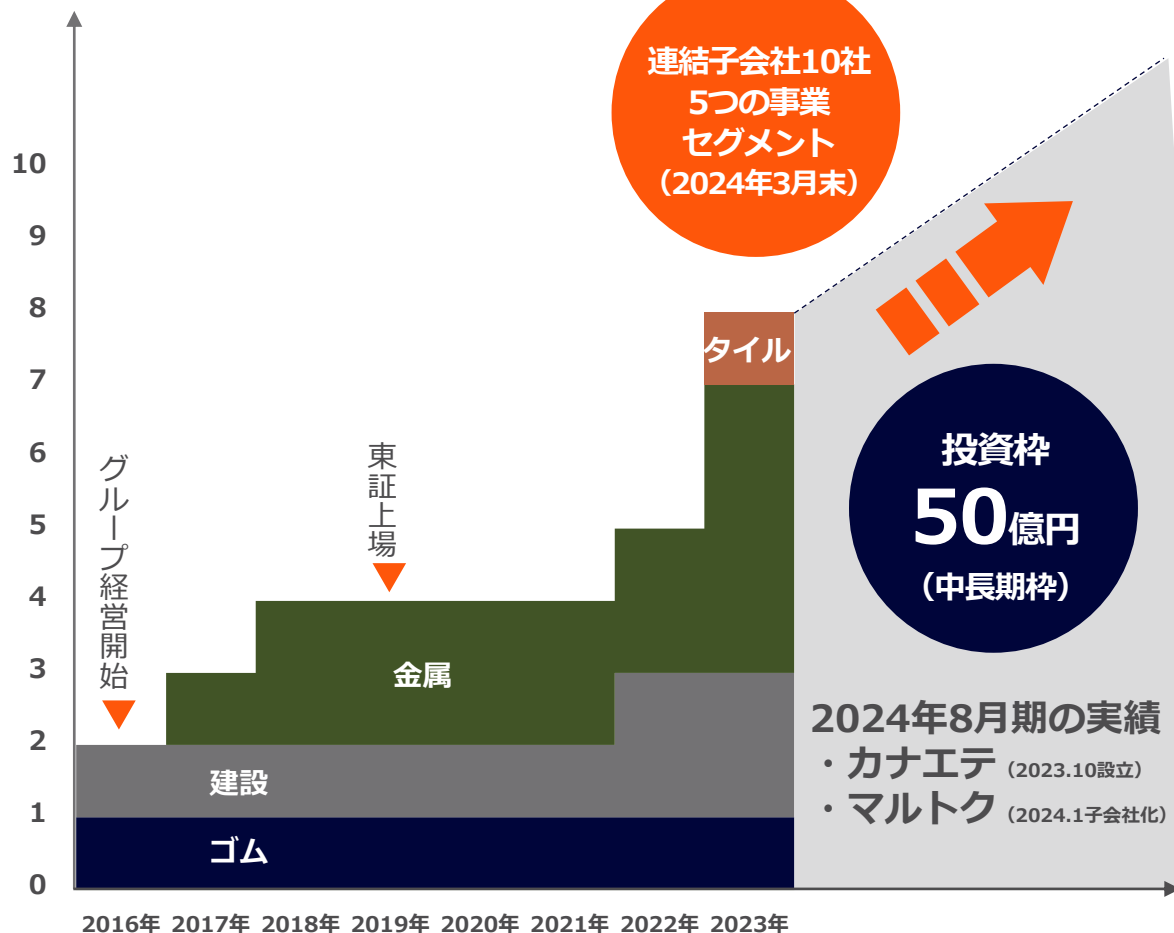
連結子会社が8年で創出した
当期純利益総額 (※2)

19億円

※1：2016年～2023年における子会社株式取得費用、M&A取得費用、子会社設立出資金の総計

※2：2023年8月期連結純資産から日創プロニティ単体純資産を除外した上で、受取配当金を足し戻し、負ののれん発生益の影響を除外したもの

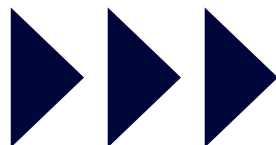
連結子会社数 (社)



M&Aの推進方針



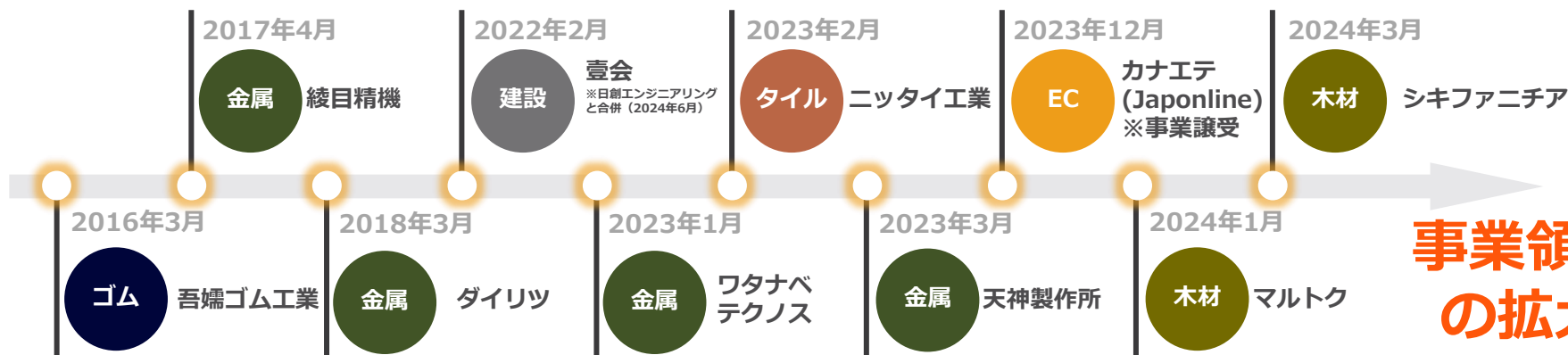
M&Aによる
事業領域の拡大



- ① 素材・加工
- ② その周辺事業
- ③ 新規事業



■ これまで、**10社**のM&Aを実施し、**事業領域を拡大**



事業領域
の拡大

配当方針

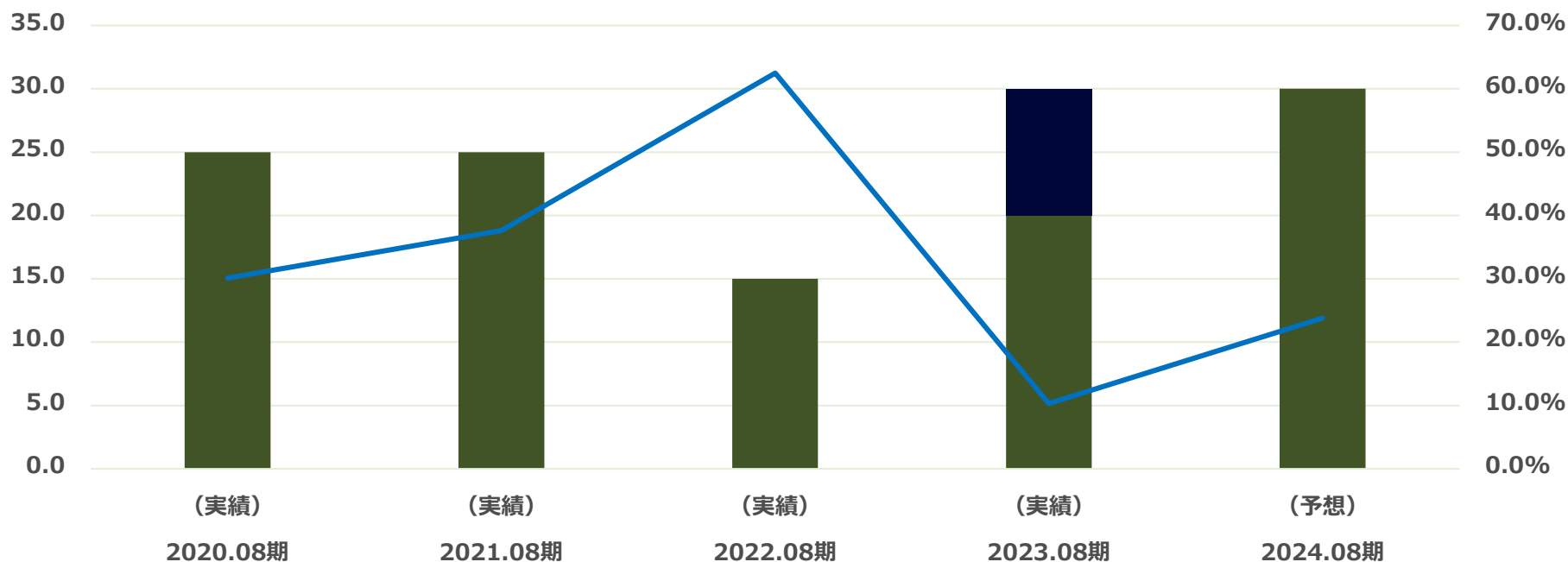
(円. 銭)

配当に対する基本的な考え方

株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識すると共に、持続的な成長と企業価値向上を図るための資金を成長投資に振り向けていくことに力点を置きながら、各事業年度の経営成績を勘案して配当を行う。

	2020.08期 (実績)	2021.08期 (実績)	2022.08期 (実績)	2023.08期 (実績)	2024.08期 (予想)
記念配当	—	—	—	10.0	—
普通配当	25.0	25.0	15.0	20.0	30.0
計	25.0	25.0	15.0	30.0	30.0
配当性向	30.1%	37.6%	62.5%	10.3%	23.8%

■ 普通配当 ■ 記念配当 — 配当性向



お問い合わせ先

日創プロニティ株式会社 経営企画室

TEL: 092-555-2825

<https://www.kakou-nisso.co.jp/>

ir@kakou-nisso.co.jp

<ご注意事項>

本資料に記載されている計画、予測又は見通しなど、将来に関する事項等は、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、将来の業績等を約束するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。